

# 取扱説明書

ATF/CVTF チェンジャー

AFC-3000TP ITEM No.881170



## 警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。  
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

## - はじめに

本書はお使いになる本製品が故障なく十分に、皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法と使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作は行わないでください。

特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。

なお、ご使用中に不明な点、不具合などがありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

取扱説明書、注意ラベルなどを汚損、紛失した場合には、速やかにお買い上げの販売会社からご購入いただき保管・貼付してください。


## - 使用目的


本製品は、オートマチックトランスミッションフルード（以下 ATF という）、及び無段階変速機専用フルード（以下 CVTF）の交換機です。交互モード・半自動モードの各モードにより、複雑なミッションオイルの交換作業を簡単なタッチパネル操作により全自動で行うことができます。

## - 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

 **警告** : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

 **注意** : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、及び物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。










この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。
























この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

## - 使用上の注意事項

 <b>警告</b>	
	- 燃性ガスの充満している可能性のある場所、火元の近い場所、密閉室内では使用しないでください。爆発の恐れがあります。本製品は、2種危険場所より危険度の高い場所では使用できません。
	- 本製品は屋内仕様です、雨水のかかる可能性のある場所では使用できません。雨水のかかる場所で使用した場合、感電する可能性があります。
	- 作業者、保守要員の方は、本製品の操作、または保守を行う前に取扱説明所をよく読んで、完全に理解できるまでは作業を行わないでください。
	- 本製品を操作する際は、必ず適切な保護具を装着して作業を行ってください。保護具を装着せずに作業を行うと、思わぬ事故に繋がる可能性があります。
	- 本製品は、高温の廃油を取扱うことがあります。十分に注意しヤケドを負わないようにしてください。
	- リフトを使用する際は、リフトの取扱説明書を熟読し、内容をよく理解してから作業を行ってください。

## ⚠ 注意

-  - 本製品は、ATF 及び CVTF 専用です。これ以外のブレーキ液、ガソリン、軽油などのゴムを侵す液体、及び揮発性の高い液体には使用できません。機器の故障の原因になるばかりでなく、発火などの危険性があります。
-  - タッチパネルは、分解・改造しないでください。感電・火災などによる傷害を起こす危険性があります。
-  - 取扱う材料は地面などに直接排出しないでください。有害物質などの処分は材料メーカーの取扱注意事項（SDS など）や適用される法規に従ってください。また、本製品を廃棄する場合も、本製品内に残った材料を除去したうえで、法規に従って処分してください。（公認の産業廃棄物処理業者にお問い合わせください。）
-  - 本製品には AC100V 以外の電源を使用しないでください。本製品の故障、及び感電・火災などによる傷害を起こす危険性があります。
-  - 本製品を、直射日光に長時間さらさないでください。樹脂部品が熱変形を起こす恐れがあります。
-  - 本製品を 40 °C 以上の場所で使用しないでください。本製品の故障に繋がる可能性があります。
-  - 本製品を使用する前に、本製品及び付属品の変形や腐食の有無がないか必ず確認してください。
-  - 画面に指示がある時以外、アブラウケにオイルを入れないでください。指示がない状態でアブラウケにオイルを入れると、数値がずれ、正確なオイルの供給、抜取ができなくなる可能性があります。
-  - 傾斜地など不安定な場所での使用または放置をしないでください。
-  - 本製品を使用する前に、電源コードなどにキズがないか確認を行ってください。破損した電源コードを使用すると、本製品の故障、及び感電・火災などによる傷害を起こす危険性があります。
-  - 本製品の充電部に触れたり、濡れた手で電源コードに触らないように注意してください。本製品の故障、及び感電・火災などによる傷害を起こす危険性があります。
-  - 作業中及び作業終了後は、本製品が不意に移動しないように、必ずキャストのストッパーをロックしてください。キャストをロックしなかった場合、本製品が勝手に移動することで物損事故や施設汚染などが発生する恐れがあります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。
-  - オイル交換をする前には車両の取扱説明書を熟読し、適切な交換方法を選択してください。
-  - 使用するオイルによっては、皮膚に触れると炎症を起こす危険があります。メーカーの取扱注意事項を熟読し、注意して取扱ってください。
-  - 本製品を輸送する際や凹凸の多い場所を移動させる場合、必ずコテイヨウブラケットで廃油タンクと製品を固定させてから移動させてください。ロードセルが故障し、きちんと流量を計測できなくなる可能性があります。
-  - 本製品を移動させる際は、アブラウケを一番下げた状態にして、本体部を持って移動を行ってください。
-  - 段差などがある場所の移動で本製品を傾ける可能性がある場合は、本製品内の新油缶及び廃油タンク内を空にしてから移動してください。廃油タンクが満量及び新油缶が入った状態で製品を傾けると製品が転倒したり、キャストが破損する可能性があります。
-  - 本製品を使用する際は、必ず平らで床面が固い場所で使用してください。平らな場所以外やカーペットなどの柔らかい床の上で使用すると、オイルが正確に測定できません。
-  - 本製品は精密機械です。取扱いの際は丁寧に取扱ってください。
-  - 交換作業を行う前には、必ず廃油満了まで量を確認し、車両から抜取るオイルが入ることを確認してから作業を行ってください。確認をせずに使用した場合、廃油が溢れ、施設汚染などが発生する恐れがあります。
- 

## ⚠ 注意











- ❗ - 誤動作が多い、モーターが異音を発生している。このような場合は、すぐさま作業を中断し、電源コードをコンセントから抜いて修理を依頼してください。
- ❗ - 本製品のアブラウケを操作する際は、アブラウケが落下しないよう、手で確実に支えてから、高さ調整を行ってください。アブラウケが確実に支えられていない場合、不意にアブラウケが落下し、手を挟みケガをする可能性があります。
- ❗ - アブラウケにてオイルを受ける際は、アブラウケでオイルを受け損なうことがないように十分注意して作業を行ってください。本製品にオイルが直接かかりますと故障の原因となります。
- ❗ - 万が一本製品にオイルがかかった際には、速やかに乾いたやわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、硬く絞って拭取ってください。シンナーや有機溶剤などで拭かないでください。
- ❗ - 廃油回収の際、車両とアブラウケの距離はできるだけ近くにしてください。車両とアブラウケの距離が離れていると、飛散した廃油でヤケドをする可能性があります。
- ❗ - アブラウケの上に付属のフィルター以外の物を乗せないでください。アブラウケの上に付属のフィルター以外の物を乗せると、アブラウケが落下したり、アブラウケが破損する可能性があります。
- ❗ - 本製品を使用する場合は、近くに磁石などがいないことを確認してから使用してください。本製品の近くに磁石などがある場合、製品が誤作動を起こす恐れがあります。
- ❗ - 自動交換終了後は必ずレベルゲージで油量を確認し、過不足があれば調整を行ってください。
- ❗ - 機体本体、各種ノズル、新油缶及び廃油タンクは常に清潔に取扱ってください。管理が悪いと交換するユーザー車両にゴミなどが混入し、車両故障の原因となります。
- ❗ - デンソウホゴシートが劣化したり、熱変形が発生した場合は、デンソウホゴシートを交換してください。劣化したり、変形したデンソウホゴシートを使い続けると製品故障の原因となる恐れがあります。
- ❗ - 設定値(供給量や加算量など)を設定する際は、必ず車両の許容量を確認してください。許容量を超えた値を設定した場合、オイルが溢れ、施設汚染などが発生する恐れがあります。
- ❗ - 本製品の扉を開閉する際はゆっくりと静かに開閉してください。勢いよく開けたり、無理な力をかけたりすると扉が破損する可能性があります。

## NOTE

ATF および CVTF の温度が低いと、フレキシブルノズルでの吸込みが悪い場合があります。十分に暖機運転を行い、油温を上昇させてから抜き取りを行ってください。

## タッチパネルを故障させないためには

### 注意

-  - タッチパネルの表示部を強い力や硬い物質で押さえないでください。表示部が割れ危険です。シャープペンシルやドライバーのように先が鈍利なもので、タッチパネルを押さえないでください。破損の恐れがあります。
-  - タッチパネルに磁石を近づけないでください。故障の原因となります。
-  - 薬品が気化し、発散しているエアや薬品が付着する場所での使用及び保管は避けてください。  
酸アルカリ・その他塩類・・・・・・・・腐食による故障  
有機溶剤類・・・・・・・・火災
-  - タッチパネルを使用及び保管する際は、使用温度・保管温度を厳守してください。使用温度の範囲外で使用及び保管すると、故障の原因となります。
-  - 温度変化が急激で結露するような場所での使用は避けてください。故障の原因となります。
-  - タッチパネルを直射日光の当たる場所や、高温、粉塵、湿気もしくは振動の多いところで使用及び保管しないでください。
-  - タッチパネルの表面が汚れた場合は乾いたやわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、硬く絞って拭取ってください。シンナーや有機溶剤などで拭かないでください。
-  - 表示部の液晶は紫外線によって劣化します。強い紫外線のもとでの使用及び保管は避けてください。
-  - 保存周囲温度以下で保存すると、表示部の液晶が凝固しパネルが破損する恐れがあります。また、保存周囲温度を超えると液晶が等方性の液体となり、元の状態に戻らなくなります。できるだけ室温付近で保存してください。
-  - タッチパネルの電源 OFF 後、電源を再投入する場合は、一定時間おいてから ON にしてください。正常に動作しない場合があります。

## NOTE: 液晶パネルに関する注意とお願い、及び特性

- タッチパネルの内部には、刺激性物質が含まれています。万一の破損により液状の物質が流出して皮膚に付着した場合は、すぐに流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄した後、医師にご相談ください。
- タッチパネルは表示内容やコントラスト調整などにより、明るさのムラやちらつきが生じることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。
- タッチパネルの表示の明るさや色調には個体差があります。複数台を並べて使用する場合、個体差が生じることをあらかじめご了承ください。
- タッチパネルには温度により、白っぽく（高温のとき）見えたり、黒っぽく（低温のとき）見える場合がありますが、故障ではありませんのでご了承ください。
- タッチパネルの素子には、微細な斑点（黒点、輝点）が生じることがあります。これは故障ではありませんのでご了承ください。
- タッチパネルにクロストーク（表示延長上の影）が現れる場合があります。これはタッチパネルの基本的特性ですのでご了承ください。
- タッチパネル画面を視野角外から見ると表示色に変化して見えます。これはタッチパネルの基本的特性ですのでご了承ください。
- 同一画面を長時間表示していると表示されていたものが残像として残ることがあります。このような場合は、いったん電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れると戻ります。これはタッチパネルの基本的特性ですのでご了承ください。
- 白色LEDバックライト搭載機種の液晶ディスプレイでは、バックライトのLEDの劣化により特性が徐々に変化し、表示が青っぽく見える場合があります。あらかじめご了承ください。

## 目次

- はじめに
- 使用目的
- 警告・注意事項
- 使用上の注意事項

### 目次

1. 各部の名称	1
2. 交換作業前の準備	
2.1 新油缶のセット	3
2.2 フレキシブルノズル接続	4
2.3 配置	4
3. 使用方法	
3.1 使用上の注意事項	5
3.2 運転準備	5
3.3 フレキシブルノズルの挿入及び注意	6
3.4 交換用ノズルの差込みに注意する車両	6
3.5 操作方法	7
3.6 機能	17
4. 保守・点検	
4.1 保守	20
4.2 消耗品一覧	21
5. トラブルシューティング	
5.1 エラーコード	23
5.2 トラブルシューティング	24
6. 部品分解図・パーツリスト	
6.1 881170 ATF/CVTF チェンジャー	25
6.2 805112 アブラウケ組立	26
6.3 854872 本体組立	27
6.4 805115 フロント組立	28
6.5 805116 パネル組立	29
7. 主要諸元	
7.1 仕様	30
7.2 外観寸法	31
8. オプションアタッチメント（別売）	32
9. 製品保証登録シート	34
10. 保証規定	35

## 1. 各部の名称

### 1.1 各部の名称

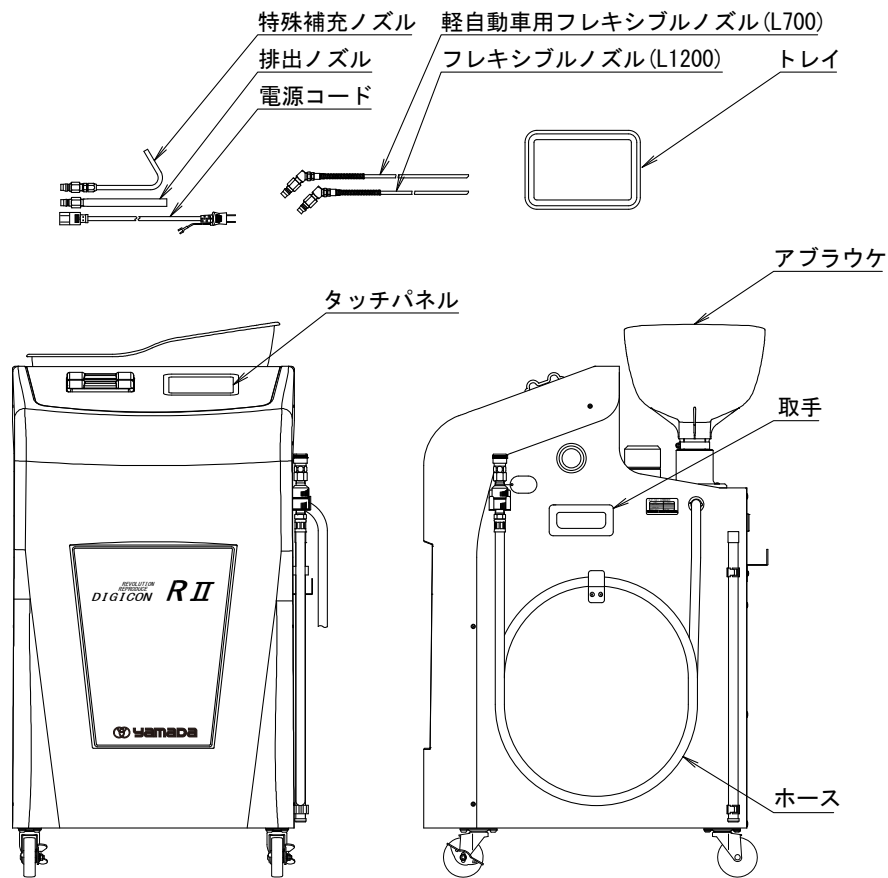


Fig.1.1

### 1.2 梱包内容

開梱後、直ちに輸送中の損傷がないか及び付属品の欠品がないか確認してください。

また、締結部及び配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増締めを行ってください。

万一、下記の付属品が同梱していない場合お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

※1：本製品の付属品は、本製品内のダンボール内にまとめて梱包してあります。

(ダンボールは本製品の扉を開けた中にあります。)

- ・ ATF/CVTF チェンジャー
- ・ 特殊補充ノズル※1
- ・ フレキシブルノズル (L1200) ※1
- ・ 軽自動車用フレキシブルノズル (L700) ※1
- ・ 排出ノズル※1
- ・ 取扱説明書※1
- ・ トレイ※1
- ・ 電源コード※1



## 警告

- ❗ - 本製品を持上げる際は、本体サイドにある取っ手を持って2人以上で行い、本製品を倒したり、落としたりしないでください。
- ❗ - 本製品の電源プラグをコンセントに繋ぐ前に、必ず本書が手元にあることを確認し、操作を行う前に必ず本書を熟読し、理解できるまで操作を行わないでください。
- ❗ - 製品使用時に取外した取付ブラケットは大切に保管し、輸送時や整備されていない床を移動させる際には必ず取付けてから移動を行ってください。取付ブラケットを使用せずに輸送や凹凸の多い床面を移動させますと、製品が故障し、正確なオイルの交換ができなくなる可能性があります。

- 1) トラックからの荷降しにはリフターを使用してください。
- 2) 梱包を取外し、サイドの取手を掴み、本製品をベースから下してください。
- 3) 外観上のキズ、損傷がないか確認してください。
- 4) 付属品が欠品なく揃っているか確認してください。
- 5) 製品と廃油タンクを固定している、取付ブラケットを外してください。(Fig.1.2)  
※取付ブラケットは大切に保管し、輸送時や整備されていない床を移動させる際には必ず取付けてから移動を行ってください。取付ブラケットを使用せずに輸送や凹凸の多い床面を移動させますと、製品が故障し、正確なオイルの交換ができなくなる可能性があります。
- 6) 電源プラグを AC100V コンセントに繋いでください。プログラムが立ち上がり、初期画面が表示されます。

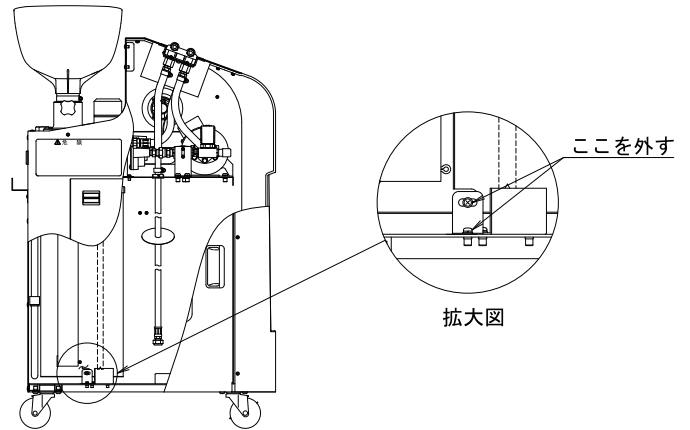


Fig.1.2

## 2. 交換作業前の準備

### ⚠ 警告

- ❗ - 本製品は、ATF 及び CVTF 専用です。これ以外のブレーキ液、ガソリン、軽油などのゴムを浸す液体及び揮発性の高い液体には使用できません。機器の故障の原因になるばかりでなく、発火などの危険性があります。
- ❗ - 本製品を運転中、または保管する場合には、必ずキャストブレーキをロックしてください。ロックをしないで斜面に置いた本製品が動き出し、転倒して施設を汚染したり、車両に損傷を与えた場合は使用者側の責任となります。
- ❗ - 本製品、ノズル、新油缶、廃油タンクは常に清潔に取扱ってください。管理が悪いと交換するユーザ車両にゴミなどが混入し、車両故障の原因となります。

### <NOTE>

- ・ ATF 及び CVTF の温度が低いと、フレキシブルノズルでの吸込みが悪い場合があります。十分に暖機運転を行い、油温を上昇させてから抜き取りを行ってください。(一般的な ATF ・ CVTF で 50~80 °C が目安です。)

## 2.1 新油缶のセット

### ⚠ 注意

- ❗ - 新油缶を交換される場合、各種の潤滑油が保管されている中から油種の間違いのないように再確認してセットしてください。
- ❗ - 新油缶をセットする際、サクシオンホースに泥、ゴミなどを付着させないように注意してください。

- 1) 側面の扉を開けてサクシオンホースを取出して新油缶に差込んでください。(Fig.2.1)
- 2) 新油缶を本製品内にセットしてください。
- 3) サクシオンホースが新油缶内で折れ曲がっていないことを確認してください。

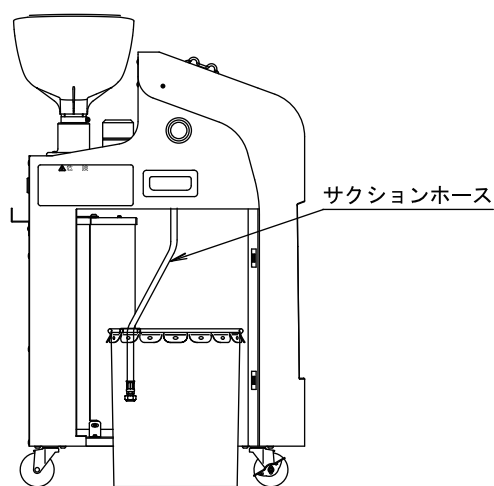


Fig.2.1

## 2.2 フレキシブルノズル接続

### ⚠ 注意



- ノズルとホースを接続する際、確実にセットしてください。正しく接続されていないと、ゴミなどが入り込み、本製品の故障の原因になります。(Fig.2.3)

- 1) ホース側のカプラの外側リングを手前に引っ張ってください。
- 2) ノズル側コネクタをカプラに差込み、リングを元の位置に戻すとコネクタが固定されます。
- 3) ホースとノズルを引っ張り、外れないことを確認してください。

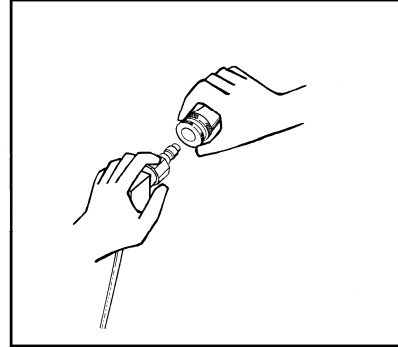


Fig.2.3

## 2.3 配置

### ⚠ 注意



- 本製品の運転中には、必ず平らな場所でキャストブレーキをロックしてください。場所によっては、動き出して思わぬ物的損害事故を招くことがあります。



- 本製品には AC100V 以外の電源を使用しないでください。本製品の故障、及び感電・火災などによる傷害を起こす危険性があります。



- 本製品を直射日光に長時間さらさないでください。樹脂部品が熱変形を起す恐れがあります。

- 1) 車両を水平な場所に停止させ、サイドブレーキを一杯に引き、制動が十分であることを確認してください。
- 2) 車両脇に本製品を移動させ、キャストブレーキをロックしてください。(Fig.2.4)
- 3) 電源コードをコンセントに差込むと、ブザーが1回鳴ります。
- 4) 交換作業を行う前に、必ず車両のレベルゲージで油量の確認をしてください。

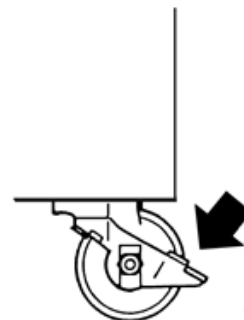


Fig.2.4

### 3. 使用方法

#### 3.1 使用上の注意事項

<b>⚠ 注意</b>	
<b>!</b>	- 4WD 車、他、車種によってはオイルを指定している場合がありますので、車両の取扱説明書で確認してください。(指定されている ATF・CVTF 以外のオイルを使用しますと、ミッションなどの故障の原因になります。)
<b>!</b>	- 作業前及び作業終了後は、必ずレベルゲージで油量を確認してください。(交換作業の終了後は、必ずその車のレベルゲージで油量を確認して過不足のないようにしてください。油量は、多過ぎても少な過ぎてもミッションを痛める原因になりますので注意してください。)

#### 3.2 運転準備

<b>⚠ 注意</b>	
<b>!</b>	- 車種によっては、一度エンジンを切ってから油量を測る車種もありますのでご注意ください
<b>!</b>	- トランスミッション内にゴミの混入を防止するために、レベルゲージは完全に差込んでください。

**※下記の手順は一例となります。作業前に必ず車両の整備要領書を熟読し、整備要領書に従い作業を行ってください。**

- 1) シフトレバーを”P”位置にして、アイドリング運転を 10～15 分ぐらい行い、油温を上げてください。(50～80 °C)  
また、一部の CVT 車は走行を行ってください。
- 2) アイドリング状態にして、ブレーキングペダルを踏みながらシフトレバーを”P”～”L”まで各レンジを一巡した後、”N”レンジにしてください。(Fig.3.1)
- 3) そのままの状態レベルゲージを抜き、ウエスなどで一度拭取って、再度油量を測ってください。
- 4) 走行直後のトランスミッションの油量が高いときは、レベルゲージの HOT 側を見て測定し、LOW と FULL の目盛りの間であれば正常です。この時点での油量点検は、交換時において給油量と回収量の差を見て、規定給油量の目安とするために行います。(Fig.3.2)

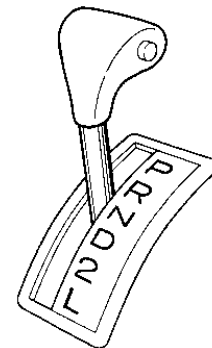


Fig.3.1

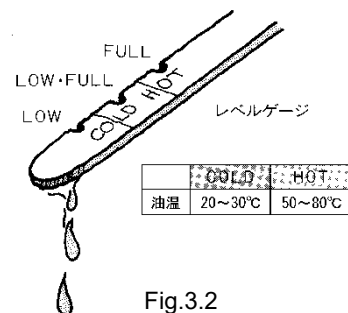


Fig.3.2

### 3.3 フレキシブルノズルの挿入及び注意

ノズルをレベルゲージ穴にゆっくりと確実に挿入してください。(Fig. 3.3)

#### <NOTE>

- ・ 絶対に無理には押込まないでください。途中で止まった場合は、少し戻してからゆっくり回しながら押し入れてください。
- ・ オイルゲージの長さから、ノズルの挿入深さを判断してください。
- ・ 当たりがあったら止めてください。
- ・ 当たりがしない場合は、10 cm 位引抜いて再度ゆっくり押し込んでください。
- ・ 抜取りのできない車両の場合ノズルの差込みに注意してください。車両については、下記を参照してください。

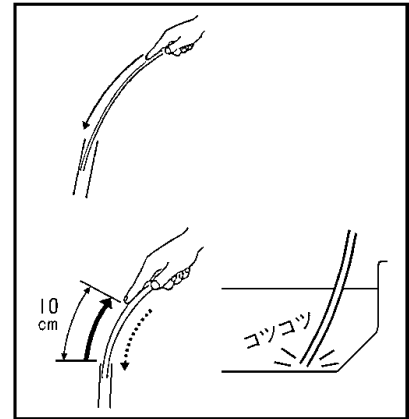


Fig.3.3

### 3.4 交換用ノズルの差込みに注意する車両

#### ⚠ 注意



- 一部車種によってはノズルオサエを使用する場合があります。お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。(ホンダなど、一部の車種「縦置きエンジン」は、レベルゲージが短く、ノズルが斜めに挿入されることがあります。この場合、ノズルの先端が内部の回転部に当たって破損の原因になります。これらの車種のATF交換を行うときは、必ずノズルオサエを使用してください。)

ホンダ系一部の車種においては、ノズルオサエを別途ご購入してください。



ホンダ専用ノズルオサエ AFC-NH (771782)

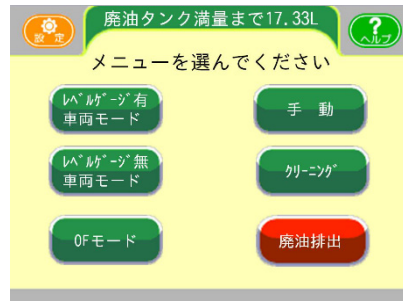
### 3.5 操作方法

#### ■レベルゲージ有車両モード

レベルゲージがついている車両のオイルを交換する場合に選択してください。

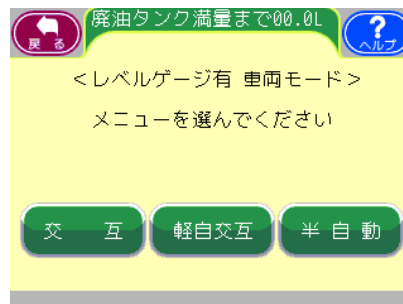
1. 電源を入れてください。

メニュー画面が表示されます。



2. メニュー画面の「レベルゲージ有車両モード」ボタンを選択してください。

3. 画面に「<レベルゲージ有 車両モード>メニューを選択してください。」と表示されます。



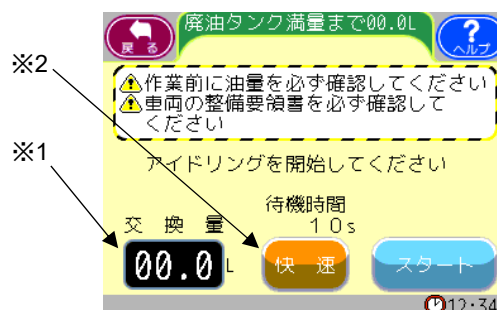
4. 交換される車の大きさに応じて「交互」「軽自交互」のどちらかを選択してください。

※「半自動」はCVTF 交換専用となります。(P.9 参照)

5. 画面に交互画面が表示され、音声案内が流れます。

音声：「ノズルをレベルゲージ穴に確実に入れてください。」

「エンジンのアイドリングを開始してください。」



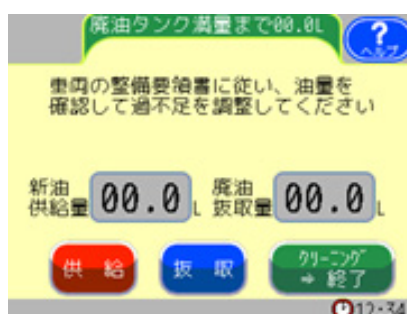
6. ※1 を押すとテンキーが表示されるので、希望する交換量を設定してください。(変更可能範囲は 2.0~20.0 L です。)

7. 待機時間「快速」「普通」のどちらかを選択してください。

※2 を押すごとに「快速」「普通」が切り替わります。

- ※待機時間はオイルが循環するのを待機する時間となります。
- ※待機時間は設定画面にて変更が可能です。
- ※待機時間の初期値は快速：10秒、普通：15秒となります。
- ※通常は「普通」を選択し、急ぎの場合は「快速」を選択してください。



- ホースにフレキシブルノズルを接続してください。  
※軽自動車のオイル交換作業を行う場合は、軽自動車用フレキシブルノズル(L700)を接続してください。
- 車の油量をレベルゲージにて確認し、フレキシブルノズルをレベルゲージ穴に確実に入れてください。
- エンジンのアイドリングを開始してください。
- 「スタート」ボタンを押して作業を開始してください。
- 交換が完了しますと交換完了画面が表示され、ブザーが3回鳴った後に、音声案内が流れます。  
過不足があった場合、「供給」「抜取」ボタンで任意の油量になるように調整してください。  
音声：「エンジンのアイドリングを停止してください。」  
（「供給」「抜取」ボタンを押している間だけ、ポンプが作動し、離すと停止します。）



- フレキシブルノズルをレベルゲージ穴より抜けきる少し前まで引出し、「クリーニング⇒終了」ボタンを押してください。
- 車の油量をレベルゲージにて確認してください。
- エンジンのアイドリングを停止し、作業を完了してください。

## ■レベルゲージ有車両モード（半自動モード）

レベルゲージがついている車両の CVTF を交換する場合に選択してください。

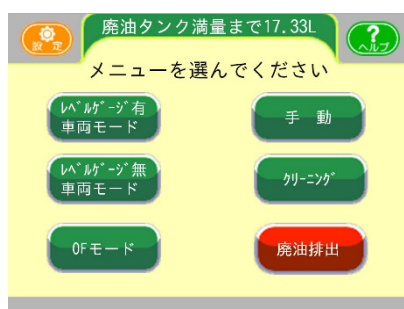
 <b>警告</b>	
	- 半自動モードは、CVTF の交換以外には絶対に使用しないでください。CVTF の交換以外で半自動モードを使用した場合、車両の故障などに繋がる可能性があります

※半自動モードではエンジンのアイドリングを行わないでください。



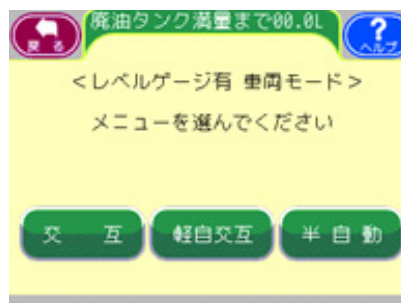
1. 電源を入れてください。

メニュー画面が表示されます。



2. メニュー画面の「レベルゲージ有車両モード」ボタンを選択してください。

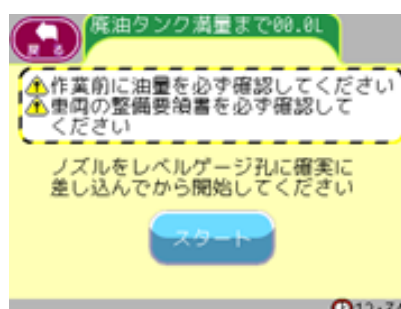
3. 画面に「<レベルゲージ有 車両モード>メニューを選択してください。」と表示されます。



4. 「半自動」ボタンを選択してください。

5. 画面に半自動画面が表示され、音声案内が流れます。

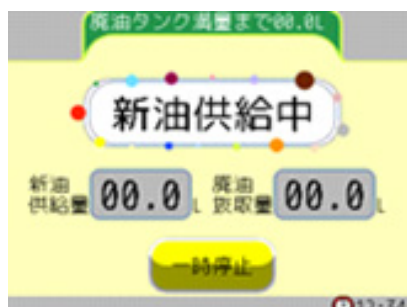
音声：「ノズルをレベルゲージ穴に確実にに入れてください。」



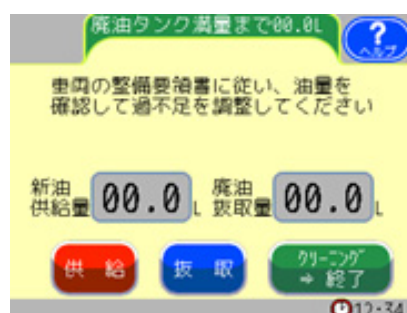
6. ホースにフレキシブルノズルが接続されていることを確認してください。



7. 車の油量をレベルゲージにて確認し、フレキシブルノズルをレベルゲージ穴に確実に入れてください。
8. 「スタート」 ボタンを押して作業を開始してください。
9. 下記画面が表示され、交換作業が開始されます。



10. 交換が完了しますと下記画面が表示され、ブザーが3回鳴ります。  
レベルゲージにて油量を確認し、過不足があった場合、「供給」「抜取」ボタンで任意の油量になるように調整を行ってください。  
(「供給」「抜取」ボタンを押している間だけポンプが作動し、離すと停止します。)



11. フレキシブルノズルをレベルゲージ穴より抜けきる少し前まで引出し、「クリーニング⇒終了」ボタンを押し、作業を完了してください。

## ■レベルゲージ無車両モード

レベルゲージがなく、リフィル口がある車両のオイルを交換する場合に選択してください。

<b>⚠ 警告</b>	
<b>!</b>	- リフトを使用し、車の下に入る際は、必ずリフトのロックがかかっていることを確認してから作業を行ってください。

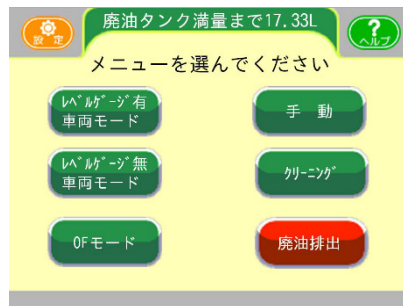
<b>⚠ 注意</b>	
<b>!</b>	- 加算量を設定する際は、必ず車両の許容量を確認してください。許容量を超えた値を設定した場合、オイルが溢れ、施設汚染などが発生する恐れがあります。

※レベルゲージ無車両モードではエンジンのアイドリングを行わないでください。



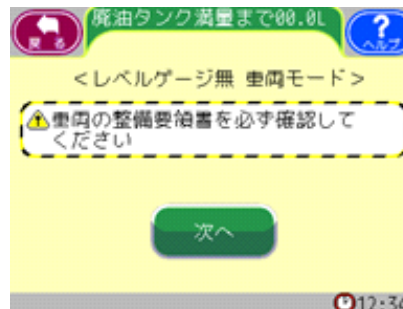
1. 電源を入れてください。

メニュー画面が表示されます。



2. メニュー画面の「レベルゲージ無車両モード」ボタンを選択してください。

3. 下記メニューが表示されます。



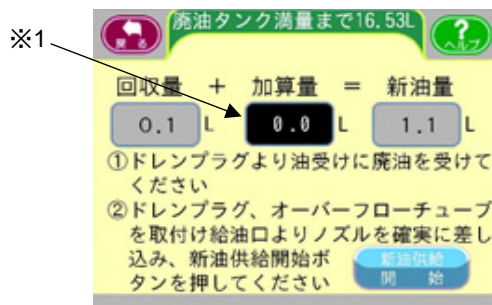
4. 製品を車両の下へ移動し、アブラウケでドレン口から流れてくるオイルを受けられるように調整してください。

5. 「次へ」ボタンを選択してください。

6. 下記画面が表示され、音声案内が流れます。

音声：アブラウケをセットしてください。

ドレンからアブラウケへ廃油を回収してください。



※使用中に製品を移動させた場合、製品が振動し、回収量が正しく測定できない可能性があります。

使用中に製品を移動させる場合はゆっくりと移動し、作業完了後に必ずレベルゲージなどでオイル量の確認を行ってください。

※使用中に製品を移動させる場合は製品に振動が伝わらないよう平らな床面を移動させてください。

段差や溝の上を移動すると製品が大きく振動し、回収量が正しく測定できない可能性があります。

7. 車についているドレンプラグ、オーバーフローチューブを外し、本製品のアブラウケ部でオイルを受けてください。

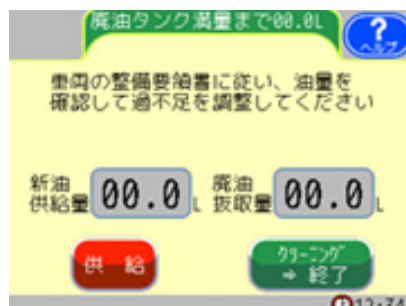
8. 車から出てきた分のオイル分「回収量」カウントが上昇します。

※1を押すとテンキーが表示されますので、加算量に追加したいオイル量を設定してください。

※変更可能範囲は0.0~1.0Lとなります。(初期値は0Lとなります。)

9. 交換が完了しますと、下記の画面が表示されブザーが3回鳴ります。

ホースに接続されているフレキシブルノズルを外し、付属の特殊補充ノズルを接続してください。



10. オイルが滴下状態になったら、ドレンプラグを閉め、特殊補充ノズルをリフィル口にセットして「新油供給開始」ボタンを押してください。

11. 新油の供給完了後、特殊補充ノズルをリフィル口より抜けきる少し前まで引出し、「クリーニング⇒終了」ボタンを押してください。ノズルクリーニング完了後、特殊補充ノズルを外し、リフィル口を閉めてください。

12. 製品をリフト操作の邪魔にならない位置に移動させてください。





13. 車両の整備要領書に記載されている、油量調整を実施してください。

14. 油量調整が完了しましたら、リフトを降ろし、作業を完了してください。

## ■OFモード

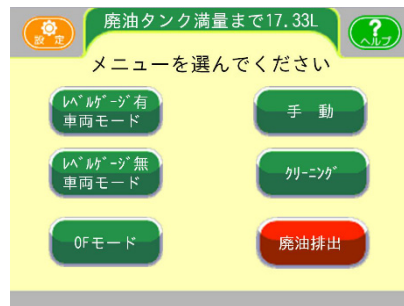
レベルゲージがなく、リフィル口もない車両でオイル交換を行う場合に選択してください。

**⚠ 警告**

-  - OFモードを使用するためにはオプション品のアダプターA～E(P.33 参照)のいずれかが必要となります。
-  - リフトを使用し、車の下に入る際は、必ずリフトのロックがかかっていることを確認してから作業を行ってください。
-  - オーバーフローチューブがない車両に対し、OFモードを使用しないでください。
-  - オーバーフローチューブは絶対に外さないでください。

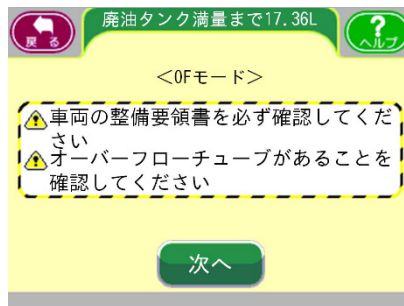
1. 電源を入れてください。

メニュー画面が表示されます。



2. メニュー画面の「OFモード」ボタンを選択してください。

3. 下記画面が表示されますので、内容を確認し、「次へ」ボタンを押してください。

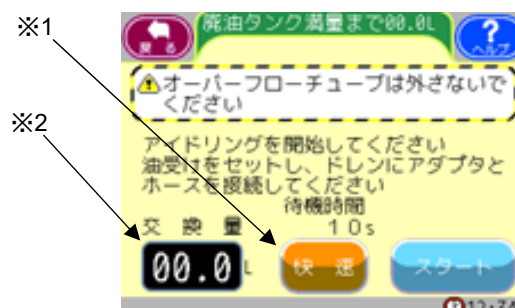


4. 画面にOFモード設定画面が表示され、音声案内が流れます。

音声：エンジンのアイドリングを開始してください。

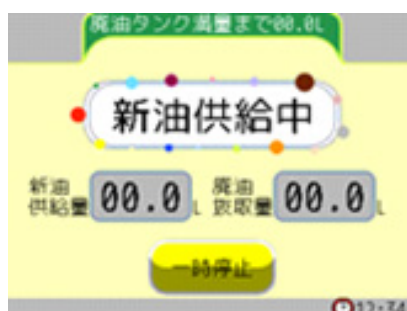
アブラウケをセットしてください。

ドレンへ専用アダプタを接続し、ホースを取付けてください。

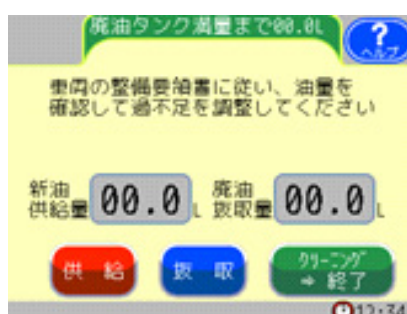


5. エンジンのアイドリングを開始した状態で車をリフトで持ち上げてください。

6. 製品を車両の下へ移動し、アブラウケでドレン口から流れてくるオイルを受けられるように調整してください。
7. ドレンプラグを外し、本製品のアブラウケでオイルを受けてください。
8. オイルが滴下状態になりましたら、専用アダプターをドレン口に取り付け、バルブを開いてください。  
※必ずアダプターのバルブが開いている事を確認してください。
9. ホースに接続されているフレキシブルノズルを外し、専用アダプターにホースを接続してください。
10. ※2 (P.13) を押すとテンキーが表示されるので、希望する交換量を設定してください。  
(変更可能範囲は 2.0~20.0 L です。)
11. 待機時間「快速」「普通」のどちらかを選択してください。  
※1 (P.13) を押すごとに「快速」「普通」が切り替わります。  
※待機時間はオイルが循環するのを待機する時間となります。  
※待機時間は設定画面にて変更が可能です。  
※待機時間の初期値は快速：10 秒、普通：15 秒となります。
12. 「スタート」 ボタンを押すと下記画面が表示され、新油が供給されます。



13. 作業が終了したら下記画面が表示され、ブザーが3回鳴った後に音声案内が流れます。  
油量を調整後、バルブを閉じて、専用アダプターを外してください。  
音声案内：エンジンのアイドリングを停止してください。



14. ホースと専用アダプターを外し、ドレンプラグをつけてください。
15. 専用アダプターのバルブをあけ「ノズルクリーニング」ボタンを押してください。
16. 車両の整備要領書に記載されている油量調整を実施してください。  
※リフトを操作する際は、製品を邪魔にならない位置に移動させてから操作を行ってください。
17. リフトを下ろし、エンジンのアイドリングを停止してください。

## ■手動モード

### ⚠ 注意



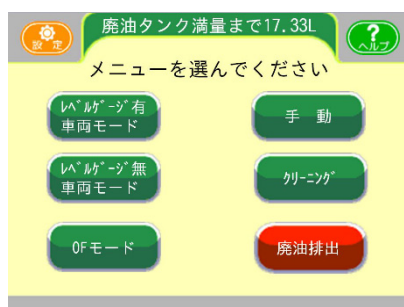
- 供給量を設定する際は、必ず車両の許容量を確認してください。許容量を超えた値を設定した場合、オイルが溢れ、施設汚染などが発生する恐れがあります。

### <手動モード1>

設定したオイル量を車に供給（または抜取）する場合に選択してください。

1. 電源を入れてください。

メニュー画面が表示されます。



2. メニュー画面の「手動」ボタンを選択してください。

3. 下記画面が表示されますので、「交換量」と記載されている、黒い数字（※1）を押してください。

※新油の変更可能範囲は0.0～20.0 Lとなります。

※廃油の変更可能範囲は0.0～17.0 Lとなります。



4. 「供給」（または抜取）ボタン（※2）を押してください。

5. 「作業量」カウントが上昇し、3. で設定した交換量に到達するまで、供給（または抜取）作業を行います。

6. 作業が完了したら「クリーニング⇒終了」ボタンを押し、作業を終了してください。

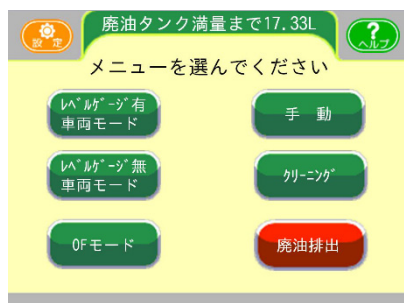
## <手動モード2>

ボタンを押している間だけ車にオイルを供給（または抜取）する際に選択してください。

※押し続けている間は自動停止しません。

1. 電源を入れてください。

メニュー画面が表示されます。

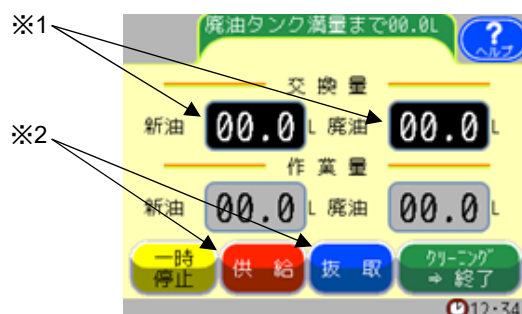


2. メニュー画面の「手動」ボタンを選択してください

3. 下記画面が表示されますので、「供給」（または抜取）ボタン（※2）を押してください。

（この際に※1の設定は行わないでください。）

「供給」（または抜取）ボタンを押している間だけ作業を行います。

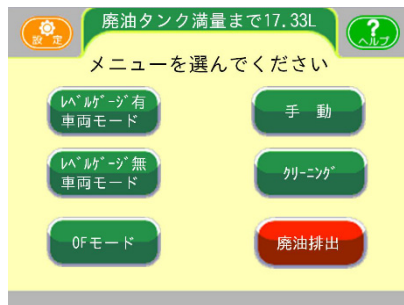


4. 作業が完了したら「クリーニング⇒終了」ボタンを押し、作業を終了してください。

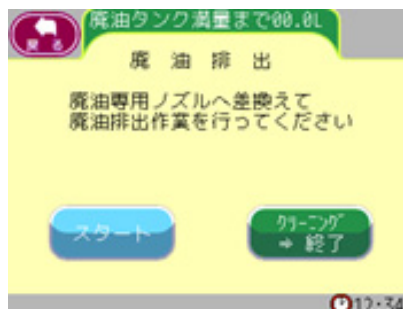
### 3.6 機能

#### ■廃油排出

1. 電源を入れてください。  
メニュー画面が表示されます。



2. メニュー画面の「廃油排出」ボタンを選択してください。
3. 下記画面が表示され、音声案内が流れます。  
ホースに接続されているフレキシブルノズルを外し、排出ノズルをセットしてください。  
音声：ノズルを差換えてください。



4. 廃油用のペール缶や廃油タンクに排出ノズルを差込み、廃油排出画面の「スタート」ボタンを押してください。
5. 廃油の排出が完了すると自動でポンプが停止しますので、「クリーニング⇒終了」ボタンを押し、作業を完了してください。



## <設定項目>

メニュー画面（図 1.参照）の左上の「設定」ボタンを押すと各種項目を設定することができます。

### 1. トータル量

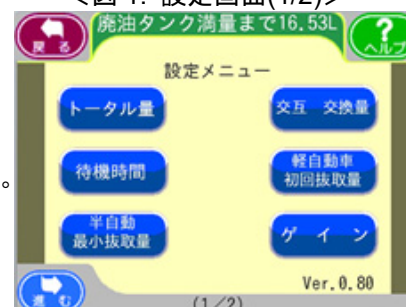
- ① 設定画面（図 1.参照）の「トータル量」ボタンを押してください。  
今まで使用した供給及び抜取の総量が確認できます。

### 2. 待機時間

新油供給後に、ミッション内をオイルが循環するのを待機する時間となります。  
（初期値：快速 10s、普通 15s）

- ① 設定画面（図 1.参照）の「待機時間」ボタンを押してください。
- ② 「快速」「普通」のそれぞれの待機時間を設定してください。  
※入力範囲は快速：10～60 秒、普通：15～60 秒となります。

<図 1. 設定画面(1/2)>

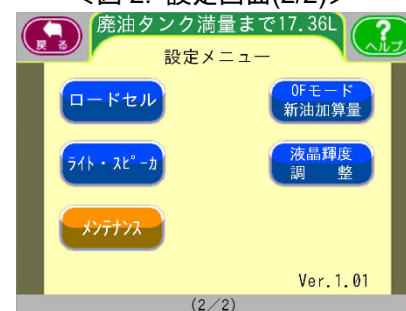


### 3. 半自動最小抜取量

半自動モード作業時に、抜取量がこの数値以下の場合、エラー（E03）が発生します。（初期値：2.0 L）

- ① 設定画面（図 1.参照）の「半自動最小抜取量」を押してください。
- ② 「半自動最小抜取量」を設定してください。  
※入力範囲は0.5～2.0 Lとなります。

<図 2. 設定画面(2/2)>



### 4. 交互 交換量

「レベルゲージ有車両」モードの「交互普通」モードで使用する初期設定値を設定できます。（初期値 7.0 L）

- ① 設定画面（図 1.参照）の「交互 交換量」を押してください。
- ② 「交互 交換量」を設定してください。  
※入力範囲は2.0～9.0 Lとなります。

### 5. 軽自動車初回抜取量

「レベルゲージ有車両」モードの「軽自交互」モードで最初に抜取るオイル量を設定できます。（初期値：0.2 L）

- ① 設定画面（図 1.参照）の「軽自動車初回抜取量」を押してください。
- ② 「抜取量」を設定してください。  
※入力範囲は0.0～1.0 Lとなります。

### 6. ゲイン値

お客様での設定は行わないでください。

### 7. ロードセル

お客様での設定は行わないでください。

### 8. ライト・スピーカー

モニターケースライトの ON・OFF 及びスピーカーの音量を調整できます。

（初期値：モニターケースライト ON、スピーカー 7）

設定画面（図 2.参照）の「ライト・スピーカー」を押してください。

- ① 「ライトの ON・OFF」横の「ON」（もしくは「OFF」）ボタンを押してください。
- ② 「スピーカー音量 0～10」下の「△」「▽」ボタンを押して、スピーカーのボリュームを調節してください。  
（0～10 の範囲で調節できます。）

## 9. メンテナンス

お客様での設定は行わないでください。

## 10. OFモード新油加算量

「OFモード」で最初に入れるオイル量の初期値を設定できます。

(初期値：0.5 L)

- ① 設定画面の「OFモード新油加算量」を押してください。
- ② 「設定値」を入力してください。

※設定範囲は0.3～1.5 Lとなります。

## 11. 液晶輝度調整

液晶画面の明るさを設定できます。(初期値：10)

- ① 設定画面の「液晶輝度調整」を押してください。
- ② 「輝度レベル 1～10」下の「△」「▽」ボタンを押して、明るさを調節してください。  
(1～10の範囲で調節できます。)

## 4. 保守・点検

### 4.1 保守

#### 警告



- ガソリンは高揮発性の液体です。洗浄などには絶対に使用しないでください。引火・爆発の危険があります。洗油により洗浄、エアブローし乾かしてください。

#### 注意



- タッチパネルは、シンナーなど有機溶剤で洗浄しないでください。



- 本製品の、保守・点検を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから外してください。感電の危険があります。



- 本製品はオイルなどによって汚れやすいので、常に清掃に心がけてください。



- フィルターは、目詰まりを起こさないように定期的に洗浄してください。



- フィルターを組込む際は、フィルター及びパッキンが溝から外れないように注意して、確実に締めてください。



- ネジに緩みがないか定期的に確認してください。緩みがある場合は増締を行ってください。



- 本製品を保管する際は必ずアブラウケカバーをかぶせてください。カバーをかぶせずに保管すると、タンク内に異物が混入し、故障の原因となります。

## 4.2 消耗品一覧

推奨交換時期は目安です。保障する期間ではありません。

使用環境や使用条件、使用頻度などにより交換時期が早まる場合があります。点検時にご確認ください。  
 (「6. 部品分解図・パーツリスト」の項参照)

### ATF/CVTF チェンジャー(881170)

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期
695897	耐油ホース	2/台	1年
695898	耐油ホース	1/台	1年
695899	耐油ホース	1/台	1年
682741	フィルター	1/台	1年
771156	パッキン	1/台	1年
695900	ホース	1/台	1年
685763	電源コード	1/台	損傷したときまたは 3年
780295	アブラウケカバー	1/台	損傷したとき

### アブラウケ組立(805112)

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期
773263	スベリドメバンド	1/台	1年

### 本体組立(854872)

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期
685816	取手	2/台	3年
695896	ホース	1/台	1年
570144	チューブ	1/台	損傷したとき
686753	ヒューズ	1/台	溶断したとき

### 流量計組立(805201)

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期
772483	カバー	1/台	損傷したとき
684708	Oリング	1/台	1年
833175	ギアクミタテ	1/台	損傷したとき
773378	オーバルギア	1/台	損傷したとき

### 配管組立(805114)

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期
685829	電磁弁	2/台	1年

### フィルター組立(805113)

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期
833149	フィルター	1/台	損傷したとき
773308	パッキン	1/台	1年
773309	パッキン	1/台	1年

### フロント組立(805115)

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期
780280	モニターケース	1/台	損傷したとき
805123	LED基盤	1/台	損傷したときまたは 3年
640009	Oリング	4/台	1年

### パネル組立(805116)

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期
805118	デンソウ	1/台	損傷したとき

### フレキシブルノズル組立(804744)

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期
803249	ノズル組立	1/台	損傷したとき

### フレキシブルノズル組立(805122)

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期
685255	ノズル	1/台	損傷したとき

### <新油供給用または廃油採取用フィルターの清掃手順>

- 1) 新油供給用のサククションホースの先端についているフィルターを洗浄してください。(Fig.4.1)

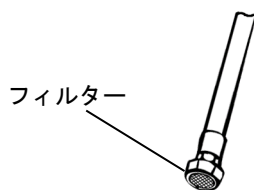


Fig.4.1

- 2) 廃油採取用フィルターはフレキシブルノズルの下についていますので、外して洗浄してください。(Fig.4.2)

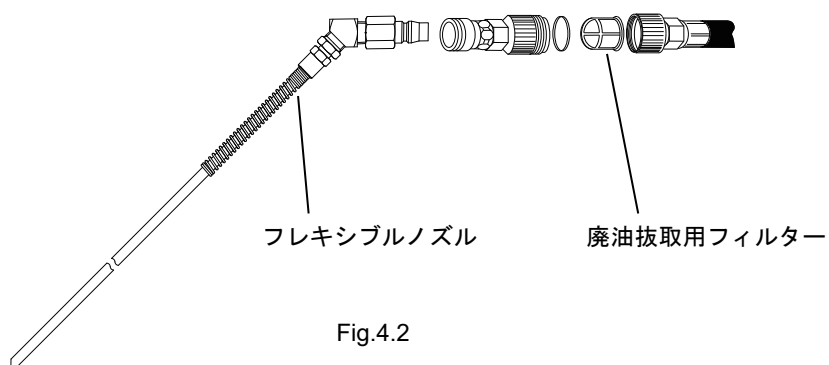


Fig.4.2

### <廃油フィルターの清掃手順>

- 1) フィルターキャップを外してください。(Fig.4.3)

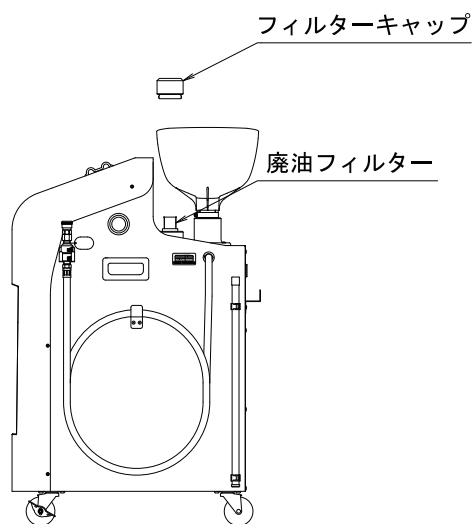


Fig.4.3

- 2) フィルターを清掃してください。  
※フィルターキャップを閉める際は、内部のパッキンをキズつけないよう十分注意してください。  
※フィルターキャップを閉める際は、エアが入り込まないように確実に閉めてください。

## 5. トラブルシューティング

### 5.1 エラーコード

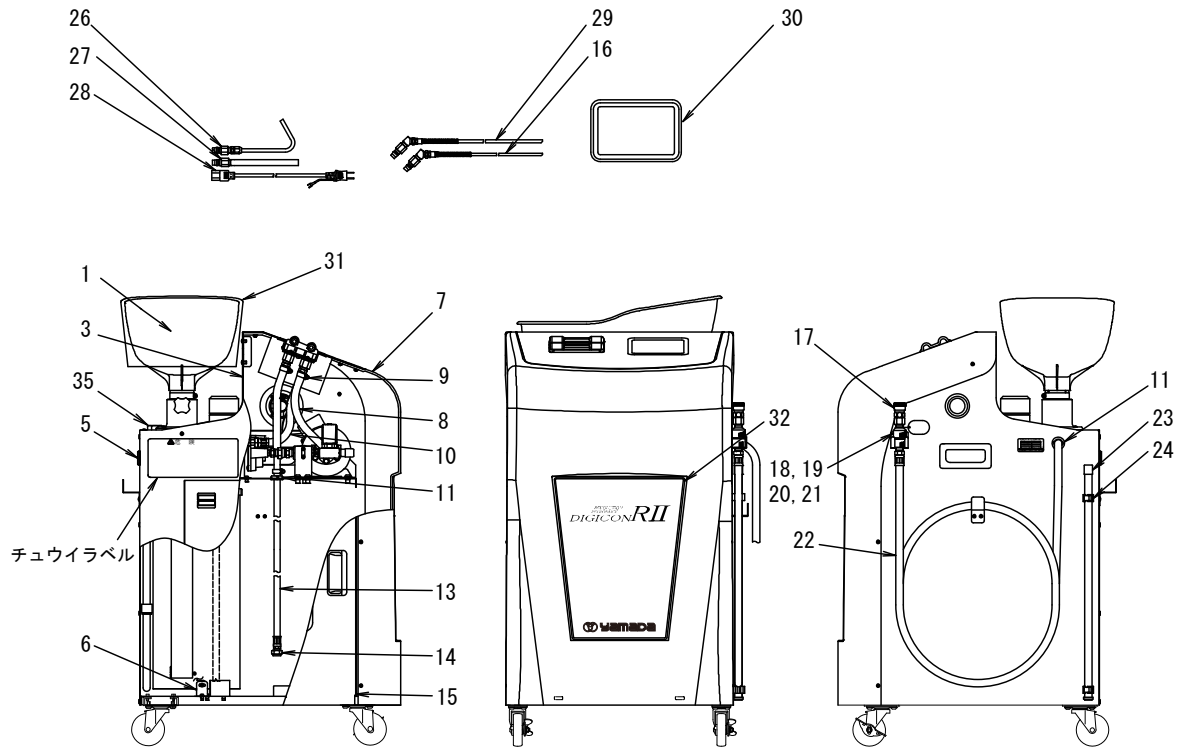
エラー種類	エラー画面	発生モード	原因	対策
E01 抜取異常		半自動	廃油抜取量が、 最小抜取量に達していない。	① ノズルの差込み具合を確認し、奥まで差込んでください。
				② ノズルの差込みが正常の場合、「作業再開」を押し、作業を続けてください。
E02 流量不足		新油供給中	新油の流れが遅い、 低温により粘度が高い。	① ノズルが折れていないか確認をしてください。
				② ノズルの差込み具合を確認し、奥まで差込んでください。
				③ 新油を温めてください。
E03 抜取異常		廃油抜取直後	オイルが抜取れない。	① ノズルが折れていないか確認をしてください。
				② ノズルの差込み具合を確認し、奥まで差込んでください。
				③ アイドリングなどにより油温を上げてください。
E04 抜取異常		廃油抜取中	廃油の流れが遅い、 低温により粘度が高い。	① ノズルが折れていないか確認をしてください。
				② ノズルの差込み具合を確認し、奥まで差込んでください。
				③ アイドリングなどにより油温を上げてください。
E09 粘度異常		廃油抜取中	廃油の流れが遅い、 低温により粘度が高い。	① ノズルが折れていないか確認をしてください。
				② ノズルの差込み具合を確認し、奥まで差込んでください。
				③ アイドリングなどにより油温を上げてください。
廃油排出エラー		廃油排出中	廃油フィルターが目詰まりしている。	① 廃油フィルターを清掃してください。 (P.22 フィルターの清掃手順参照)
新油空		新油供給中	新油がない。	① 新油のバール缶を交換してください。
廃油満量		廃油抜取中	廃油タンクが満量。	① 廃油排出を実施し、廃油を捨ててください。
廃油満量 限界		廃油抜取中	廃油タンクが限界値に達した。	① 廃油排出を実施し、廃油を捨ててください。

## 5.2 トラブルシューティング

状況	チェック	対策
電源が入らない。または操作できない。	・電源プラグがコンセントに正しく入っていない。	・電源プラグを確実にコンセントに差込む。(AC100V)
	・元電源にAC100V がきていない。	・元電源の確認をしてください。 (AC100V±5V 50/60 Hz)
	・ヒューズが切れている。	・ヒューズを交換してください(686753・3A ロング)。
	・「廃油満量」と表示されている。	・廃油タンクが満量であるので、廃油を排出してください。 (「3.6機能の■廃油排出」の項を参照)
ブザーが鳴らない。	・電源コンセントのAC100Vを確認。	・作動中に電圧が降下してAC95V 以下になっていないか確認してください。
	・スピーカーの設定値が0になっている。	・スピーカーの設定値を上げてください。
廃油の抜取が遅い。	・ノズルの折れ・潰れ。	・修理を依頼してください
	・ノズル部フィルターの目詰まり。	・フィルターを清掃する。(P.22「フィルターの清掃手順」を参照)
	・油温が低く、粘度が高いため流量が少ない。	・車のエンジンを始動させ、5～10 分程アイドリングを行い、油温を十分上昇させる。トルクコンバータのないCTV車の場合、走行して油温を十分上昇させてください。 (50～80℃)
	・オイルが漏れる。エアが混入する。	・フィルターのキャップが確実に締められているか確認してください。 ・パッキンがずれていないか確認してください。 (P.22「フィルターの清掃手順」を参照)
廃油を抜取らない。	・廃油フィルターの確認	・廃油フィルターが目詰まりしていないか確認してください。
	・ホースにノズルが正しくセットされていない。	・フレキシブルノズルを確実にセットしてください。 (「2.2 フレキシブルノズル接続」の項を参照)
	・ノズルの折れまたは潰れ。	・修理を依頼してください。
	・ノズルが確実にオイルパンに挿入されていない。	・フレキシブルノズルを確実にオイルパン底部まで挿入してください。(「3.3 フレキシブルノズルの挿入及び注意」の項を参照)
	・廃油側フィルターの目詰まり。	・フィルターを清掃してください。(P.22「フィルターの清掃手順」を参照)
	・油温が低く、粘度が高いため抜取れない。	・車のエンジンを始動させ、5～10 分程アイドリングを行い、油温を十分上昇させてください。(50～80℃) (「3.2 運転準備」の項を参照)
新油の供給が遅い。	・オイルが漏れる。エアが混入する。	・フィルターのキャップが確実に締められているか確認してください。 ・パッキンがずれていないか確認してください。 (P.22「フィルターの清掃手順」を参照)
	・ノズルの折れ・潰れ。	・修理を依頼してください。
	・サクシオンホースの折れまたは潰れ。	・サクシオンホースが新油缶の中で折れ潰れのないよう、確実に差込んでください。
	・新油フィルターの目詰まり。	・フィルターを清掃してください。(P.22「フィルターの清掃手順」を参照)
新油を供給しない。	・油温が低く、粘度が高いため供給できない。	・新油缶を温めてください。 ・室温の高いところで作業を行ってください。
	・ホースにノズルが正しくセットされていない。	・フレキシブルノズルを確実にセットしてください。 (「2.2 フレキシブルノズル接続」の項を参照)
	・ノズルの折れ・潰れ。	・修理を依頼してください。
	・サクシオンホースの折れまたは潰れ。	・サクシオンホースが新油缶の中で折れ潰れのないよう、確実に差込んでください。
	・新油側フィルターの目詰まり。	・フィルターを清掃してください。(P.22「フィルターの清掃手順」を参照)
	・新油缶が空。	・新油缶を交換してください。(「2.1 新油缶のセット」の項参照)
廃油排出が遅い、廃油排出しないすぐに止まる。	・ホースに排出ノズルが正しくセットされていない。	・排出ノズルを確実にセットしてください。
	・廃油タンクが空。	-
	・油温が低く、粘度が高いため流量が少ない。	・室温の高いところで作業を行ってください。 ・廃油タンクを外し排出する。
表示と実際量に差がある。	・オイルが漏れる。エアが混入する。	・フィルターのキャップが確実に締められているか確認してください。 ・パッキンがずれていないか確認してください。 (P.22「フィルターの清掃手順」を参照)
	・新油ゲイン値またはロードセル設定値が狂っている。	・修理を依頼してください。
タッチパネルの異常。	・タッチパネルが表示されない。	・修理を依頼してください。
	・タッチパネルをタッチしても反応しない。	・修理を依頼してください。
	・タッチパネルに斑点がある。または不要な線がある。	・タッチパネルの特性の為、異常ありません。
	・残像が残る。	・同一画面を長時間表示していた場合残像が残る。 (電源を切り、しばらくしてから再度 電源を投入する。)
	・タッチパネルの明るさが違う。	・温度により明るさが違う。特性の為異常ありません。 (高温時:白っぽい、低温時:黒っぽい)

## 6. 部品分解図・パーツリスト

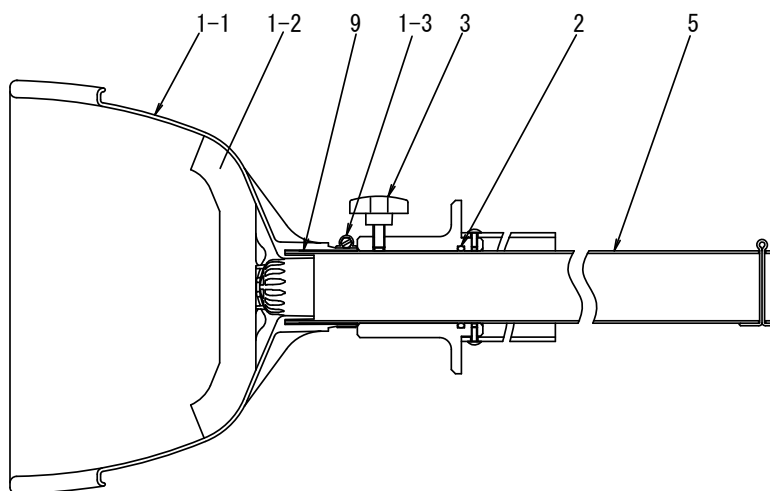
### 6.1 881170 ATF/CVTF チェンジャー



No.	部品番号	部品名称	数量	No.	部品番号	部品名称	数量
1	805112	アブラウケクミタテ	1	19	682741	フィルター	1
3	833136	ベースカバークミタテ	1	20	771156	パッキン	1
5	854872	ホンタイクミタテ	1	21	712110	キャップA	1
6	717294	コティプレート	1	22	695900	ホース	1
7	805115	フロントクミタテ	1	23	804517	アブラウケクミタテ	1
8	695897	タイユホース	2	24	686112	クリックバンド	2
9	684259	ジュビリーバンド	5	26	805120	トクシュホジュウノズル	1
10	695898	タイユホース	1	27	805121	ハイシュツノズル	1
11	684256	オープンロックブッシュ	2	28	685763	デンゲンコード	1
13	695899	タイユホース	1	29	805122	フレキシブルノズルクミタテ	1
14	685913	フィルター	1	30	687028	トレイ	1
15	805119	トビラクミタテ	1	31	780295	アブラウケカバー	1
16	804744	フレキシブルノズル	1	32	791584	フロントパネルシート	1
17	680750	エアチャック	1	35	773445	スベリドメパッド	1
18	712225	フィルターケース	1	-	791581	チュウイラベル	1

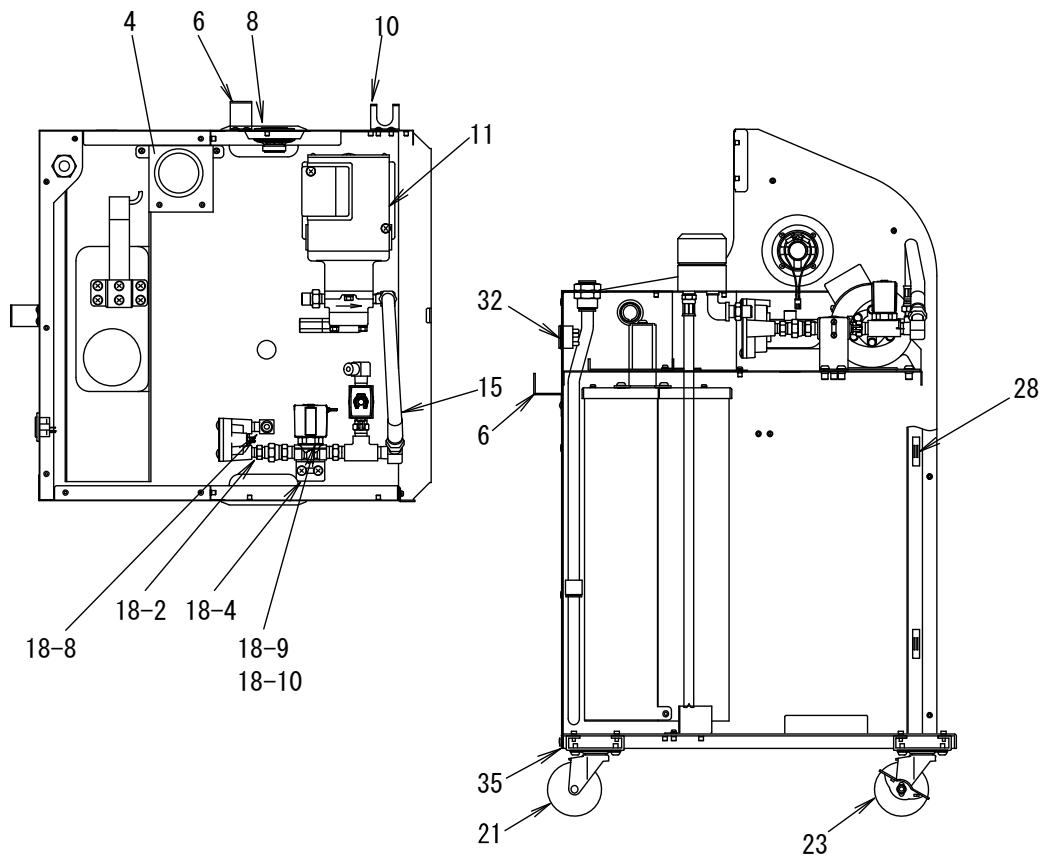


## 6.2 805112 アブラウケ組立



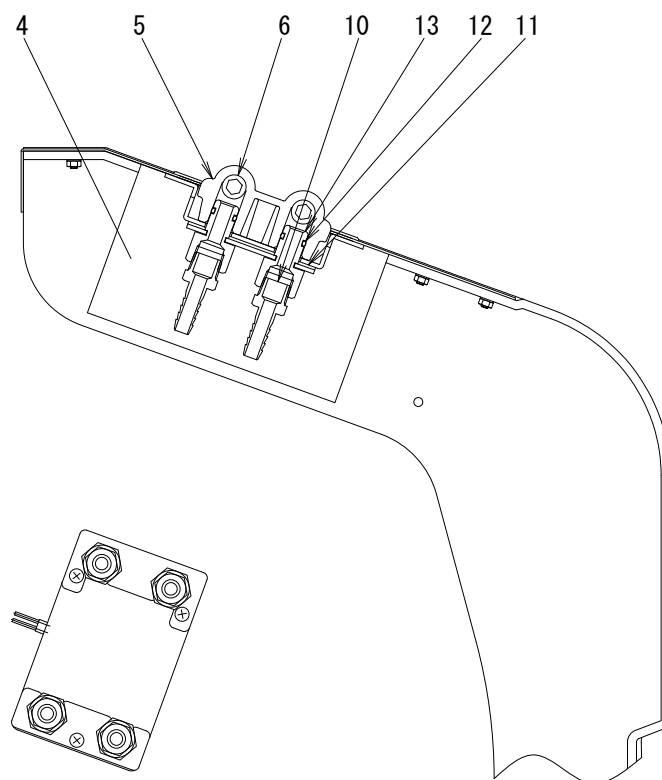
No.	部品番号	部品名称	数量
1	805021	アブラウケクミタテ	
1-1	773217	アブラウケ	1
1-2	773220	フィルター	1
1-3	684205	ホースバンド	1
2	640047	Oリング	1
3	833065	ノブクミタテ	1
5	716992	パイプ	1
9	773263	スベリドメバンド	1

### 6.3 854872 本体組立



No.	部品番号	部品名称	数量	No.	部品番号	部品名称	数量
4	805113	フィルタークミタテ	1	18-8	686615	エルボ	1
6	717012	フックB	2	18-9	685829	デンジベン	2
8	685816	トツテ	2	18-10	685482	ゼツエンカバーツキピンタンシ	4
10	717013	フックA	1	21	686220	キャスター	2
11	685192	ポンプ	1	23	686221	キャスター(ブレーキ付)	2
15	695896	ホース	1	28	684269	マグネットキャッチ	2
18	805114	ハイカンクミタテ	1	32	686753	ヒューズ	1
18-2	709059	ニップル	1	35	717243	キャスターベース	4
18-4	717015	ブラケット	1				

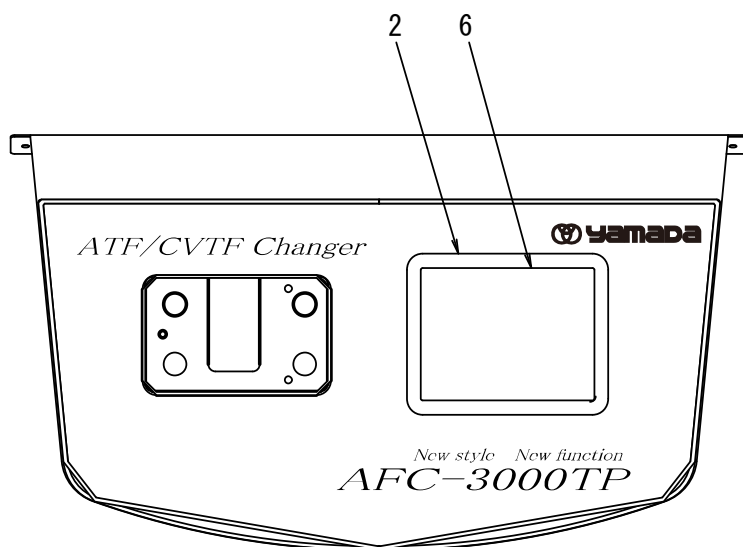
## 6.4 805115 フロント組立



No.	部品番号	部品名称	数量
4	805116	パネルクミタテ	1
5	780280	モニターケース	1
6	772934	プラグ	2
10	684267	タケノコ	4
11	805123	LEDキバン	1
12	640009	Oリング	4
13	717023	プラグ	4

※No.5(780280)モニターケースと No.6(772934)プラグは、必ずセットで交換してください。

## 6.5 805116 パネル組立



No.	部品番号	部品名称	数量
2	773267	フレームパッキン	1
6	791647	デンソウホゴシート	1

## 7. 主要諸元

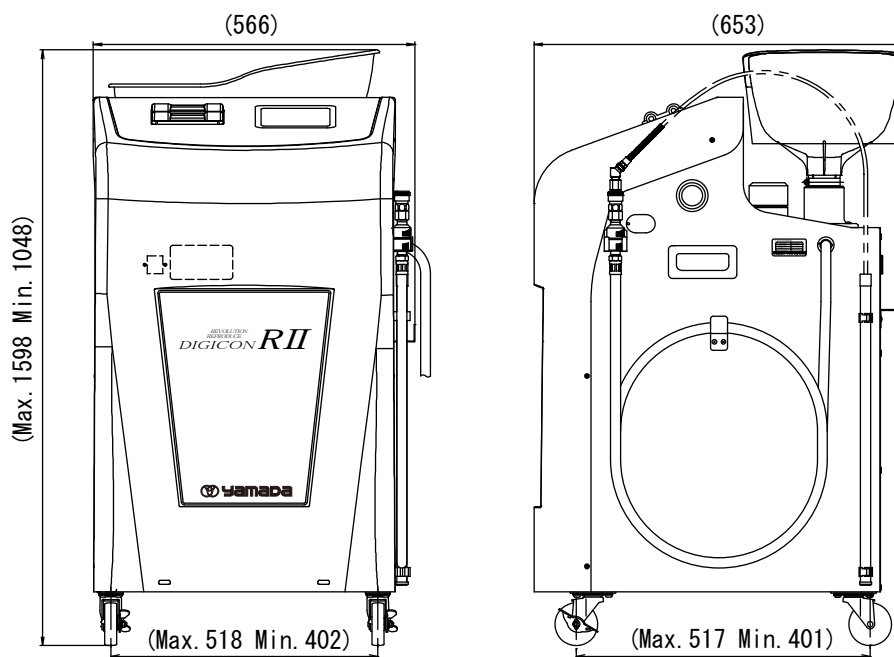
### 7.1 仕様

名 称	ATF/CVTF チェンジャー		
型 式	AFC-3000TP		
製 品 番 号	881170		
機 能	① 交互モード ② 交互軽自動車モード ③ 半自動モード ④ 手動モード ・新油供給・廃油抜取 ⑤ レベルゲージ無モード ⑥ OFモード 機能 廃油排出 ・ノズルクリーニング・メンテナンス		
性 能	新油供給量：ATF…2.3 L/min (ノズル φ4.5×φ6×L1200) 油温 20 °C		
	廃油抜取量：ATF…1.4 L/min (ノズル φ4.5×φ6×L1200) 油温 50 °C		
	廃油排出量：ATF…2.7 L/min (ノズル φ10×φ14×L300) 油温 20 °C		
電 源	AC100V±5V 50/60 Hz		
ポ ン プ	トロコイドポンプ 1基		
	吐出量(単独作動時)：3.7 L/min (50 Hz) 4.5 L/min (60 Hz)		
	吐出圧：0.5 MPa リリーフバルブ付		
	モータ：種類…コンデンサ型 E種絶縁、定格…連続		
	電圧…AC100V 50/60 Hz 75 W		
タ ン ク	廃油：専用タンク 26 L 新油：市販 20 L ペール缶、4 L 缶、他樹脂容器など ※1		
ホ ー ス	新油/廃油 ホース 1.6 m (φ9.5×φ17)		
使用温度範囲	0～40 °C (作業環境温度)		
保管温度範囲	-20～60 °C		
寸 法	H 1048×W 566×D 653		
質 量	約 52 kg (ただし、廃油タンク空、新油缶なしのとき)		
付 属 品	フレキシブルノズル	φ4.5×φ6×1200 mm	1本
	フレキシブルノズル (軽自動車用)	φ3×φ5×700 mm	1本
	廃油排出ノズル	φ10×φ14×300 mm	1本
	特殊補充ノズル	φ6×φ8	1本
	トレイ		1個
	電源コード	0.75sq×3c×L5000	1本

※0 °C以下の低温時には、液晶機能限界を超えるため見えにくくなる場合があります。

※1 樹脂容器を使用する場合、消防法非対応となりますのでご注意ください。

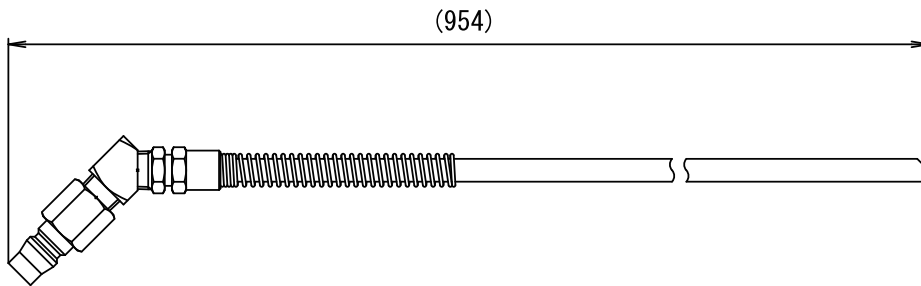
## 7.2 外觀寸法



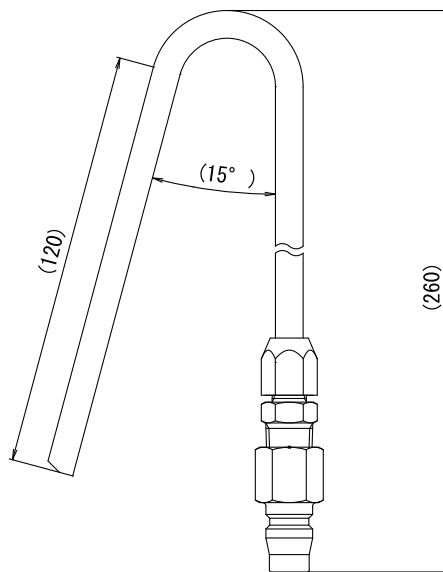
8. オプションアタッチメント (別売)



ホンダ専用ノズルオサエ AFC-NH(771782)

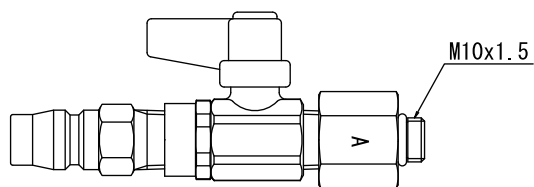


$\phi 6 \times \phi 8 \times L900$  ノズル AFC-FN8P(804745)

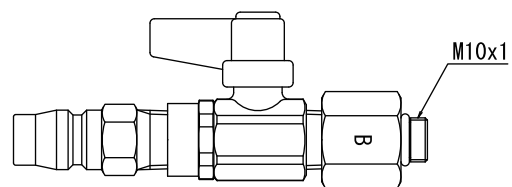


特殊ノズル AFC-TN(804725)

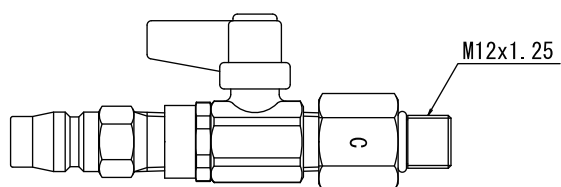
## アダプターセット AFC-ADS5(805206)



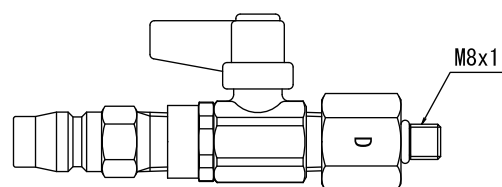
AFC-ADA



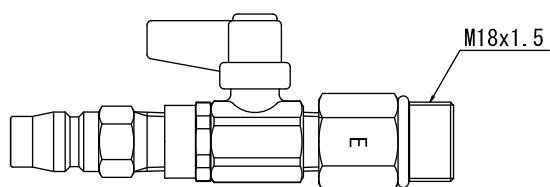
AFC-ADB



AFC-ADC



AFC-ADD



AFC-ADE

### アダプター ネジ径一覧表

部品番号	品名	型式	ネジ径	推奨メーカー
805132	アダプターA	AFC-ADA	M10×1.5	トヨタ
805133	アダプターB	AFC-ADB	M10×1	日産
805134	アダプターC	AFC-ADC	M12×1.25	トヨタ・日産
805202	アダプターD	AFC-ADD	M8×1	日産
805203	アダプターE	AFC-ADE	M18×1.5	トヨタ



## 9. 製品保証登録シート

・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																											
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																										
郵便番号 _____	フリガナ ご住所 _____	ご所属 _____																									
		ご連絡先 T e l . (        ) _____ - _____ F a x . (        ) _____ - _____ Eメールアドレス _____																									
<p>■ 貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> </table> <p>25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</p>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																									
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																									
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																									
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																									
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																									
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																									
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																									
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																									
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																									
ご購入販売店		製品名（型式）																									
		製品番号																									
		SERIAL No.																									

※個人情報は当社の個人情報方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先  
株式会社 ヤマダコーポレーション  
営業本部  
TEL.03-3777-4101  
FAX.03-3777-3328

## 10. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起きました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

**1.保証期間**：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

**2.保証内容**：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

**3.適用除外**：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用した場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類            ・各種パッキン類            ・コード類

**4.補修部品**：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。



---

## 株式会社ヤマダコーポレーション

---

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号

ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>

E-mail [sales@yamadacorp.co.jp](mailto:sales@yamadacorp.co.jp)



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所

仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

---

**製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055**

202102.2539 AUT093U